患者と医療者の視点からみたPHR連携アプリの評価と地域医療への応用

杏林大学医学部付属杉並病院　循環器内科　矢田　浩崇、中丸　遼

COI None (Yada H)

富士通 Healthy Living PlatForm （HLPF）
「ポータブルカルテ」を利用した
「**次世代型スマートウォッチ外来**」の開設

2025年7月1日　杏林大学医学部付属杉並病院で開始

スマートフォン/スマートウォッチ/Bluetooth医療機器の
PHR情報を電子カルテ(EHR）上で閲覧できる
新時代の外来を開設しました。

富士通HLPF導入は、札幌医科大学、慶應義塾大学に次い
で全国3番目 に導入となります。

1

次世代型スマートウォッチ外来が
マスコミに取り上げられました。

東京新聞

> 東京新聞 × PR TIMES

学校法人杏林学園

7月より杏林大学医学部付属杉並病院で次世代型「スマートウォッチ外来」を開設

2025年07月01日

プレスリリースの内容について

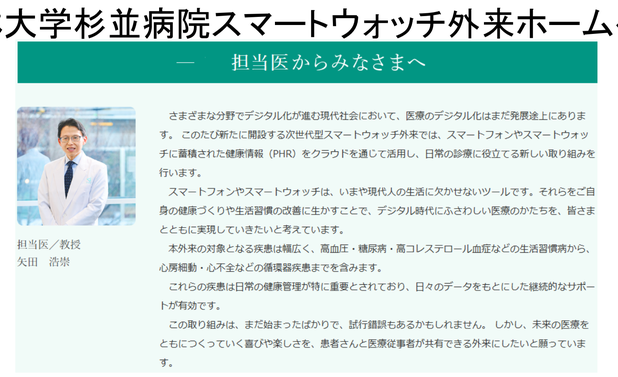
このプレスリリースは発表元による原稿をそのまま掲載しています。内容についてのご質問等は、発表元に直接お問い合わせください。

学校法人杏林学園

https://adv.tokyo-np.co.jp/prtimes/article41649/

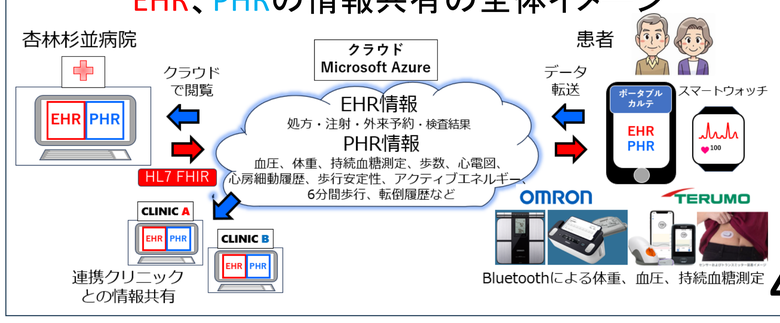
2

杏林大学杉並病院スマートウォッチ外来ホームページ



3

富士通HLPF「ポータブルカルテ」による
EHR、PHRの情報共有の全体イメージ



4

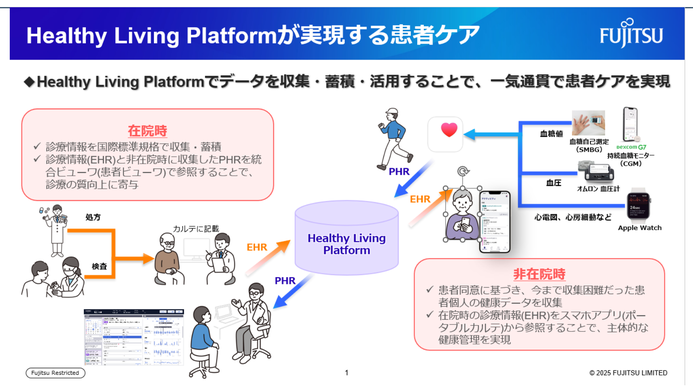
富士通HLPF「ポータブルカルテ」の特徴

1．電子カルテ (EHR)上で、患者健康情報 (PHR)を閲覧できる。

2．患者のスマホから、EHR情報を一部閲覧できる。

3．地域の医療連携への応用:連携クリニックでもEHR/PHRを閲覧できる。

5



6

医師からみた富士通HLPF

～電子カルテ で患者のPHR情報が閲覧ができる～

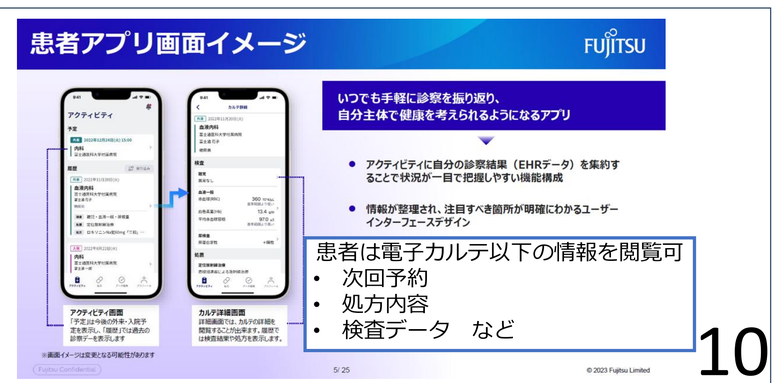
7

8

患者からみた富士通HLPF

～スマートフォンで電子カルテ（EHR）情報を閲覧ができる～

9



10

地域連携セミナーの開催（2025年5月15日）

杏林大学医学部付属杉並病院にて開催
医師 30名、看護師など 10名 参加し、地域医療のに当院の取組みをアピールした

11

地域や全国に次世代型スマートウォッチ外来を地域や全国に広くアピールした

「次世代型スマートウォッチ外来の開設とその将来性」
IT VISION 55: 2025 (令和7年11月10日発行)

大学病院が開設する次世代型「スマートウォッチ外来」
の真価　Mac Fan No.505 2026.2 マイナビ出版

「PHRでかわる外来診療」月刊新医療 No.616 2026 4月号
エム・イー振興協会

12

スマートウォッチ外来のアンケート調査

外来診療満足度およびユーザビリティ、有用性の前向き評価をアンケート調査で評価した。本調査は2025年6月に倫理審査委員会の承認（承認番号：医25002）を取得し、同年7月の外来開設と同時に調査を開始した。

対象	タイミング	評価尺度	項目数
患者	アプリ導入前	PSQ-18、 患者アンケート①	18 項目
患者	アプリ導入後 （～３か月）	PSQ-18 SUS（改変版） 患者アンケート②-1, 2	18 項目 15 項目
患者	アプリ使用後 （6，12 か月）	USEQ（改変版） 患者アンケート③	20 項目

13

アンケート調査の途中経過

① 外来満足度（PSQ-18: The Patient Satisfaction Questionnaire Short-Form ）
導入前 4.29±0.52 vs. 導入後3か月 4.51±0.46 (n=19, p<0.05)
導入後に患者満足度は有意に上昇した。

② 使いやすいさ(ユーザビリティ）の評価 (SUS: System Usability Scale)
SUS：75.0±14.8（導入6か月、 n＝19）
操作性の面で良好な評価を示した。

③ ユーザー満足度の評価 (USEQ)
USEQ：86.1±14.8（導入6か月、n＝11）
有用性や満足感を含む総合的な利用体験においても高い評価を得た。

患者の高い満足度、ユーザビリティを得られていた。

14

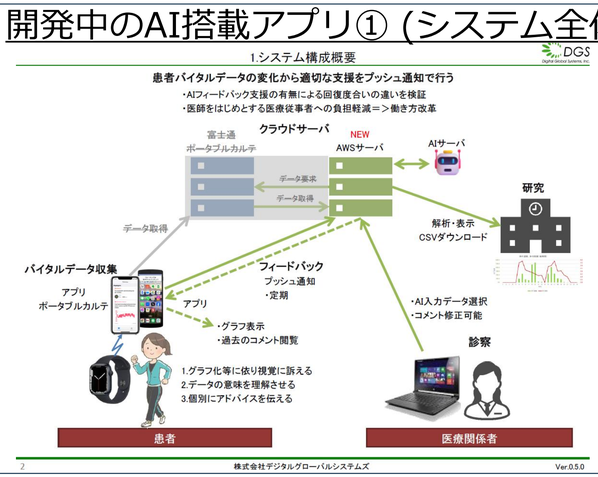
スマートウォッチ外来の今後の展望

富士通HLPF＋AI搭載アプリを活用した
地域医療の発展を目指して

1．心房細動などの不整脈や高血圧、糖尿病、肥満など生活習慣病を対象としたAI搭載アプリの開発を行っており2026年夏ごろ完成予定
2．杉並区、中野区、世田谷区の連携クリニックへの広報活動を通じて、地域の不整脈、生活習慣病の管理に貢献していく。
3．地域の医療連携への応用:連携クリニックでもEHR/PHRを閲覧でき、地域をあげて不整脈、生活習慣病対策が可能となる。

15

開発中のAI搭載アプリ① (システム全体)

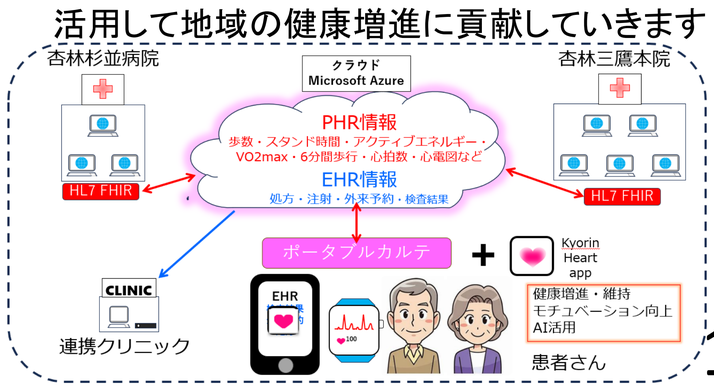


16

開発中のAI搭載アプリ② (患者への情報フィードバック)

17

杏林大学医学部付属杉並病院は
「スマートウォッチ」＋「富士通HLPF」＋「AI搭載アプリ」
活用して地域の健康増進に貢献していきます



18